

# “ガラスに挟み込む”新発想構造

両開き扉・強化ガラス扉(ガラス厚12mm)に対して、挟み込むことで取付が可能です。  
挟み込むだけなので、難しい扉加工は必要ありません。

※オプションにてガラス厚11mm/10mmの場合も対応可能。  
※片開きの場合、ストライクの取付加工が必要になります。



## ■取付方法 注意:直射日光が当たるところへの設置は避け下さい

### 1 準備・確認事項

#### ①ガラス厚の確認

本製品の標準仕様は、ガラス厚12mmに取付対応しています。  
ガラス厚11mm/10mmの場合は、オプション部品にて対応可能です。

#### ②両開き扉の場合は、扉の片方を固定する

扉が開かないように、片方の扉を固定する必要があります。  
また扉に応じて、同梱されているドアストッパーの取付が必要です。

### 2 取付する

両開き用ストライク、片開き用ストライク、ドアストッパーは標準で同梱されています。片開き扉・埋込用ストライクはオプション品になります。ドアストッパーは、扉に応じて使用してください。

#### ストライク標準セット



両開き用  
ストライク



片開き用  
ストライク



## ■両開き扉の場合

### ①オートロック設定で運用する場合は、「本体・ストライク」のマグネットセンサー位置を合わせる必要があります。

ストライク側のマグネット位置が、本体側と反対位置にある場合は、ネジを外してマグネットの位置変更をします。

#### 1 本体のマグネットセンサー位置を確認する。



#### 2 ストライクのマグネットセンサー位置を確認する。



#### 3 センサー位置が合わない場合は、マグネット位置の変更が必要です。「本体S印」と「ストライク○印」の位置が重なればOKです。



### ②参考写真のように、本体と両開き用のストライクをガラスに挟み込みます。

設置方向に応じて、タッチパネル表示の向きを自動認識します。左勝手/右勝手共有で設置可能です。ガラスクリーナーや中性洗剤をガラスにスプレーした状態で、挟み込むより取付がしやすくなります。※本体に直接スプレーしないように注意してください。※参考写真はデモ台に設置している写真です。



施工上のご注意：取付時は、ガラス等で怪我をしないように十分ご注意ください。

## ■片開き扉の場合

本体は、両開き扉と同様にガラスに挟み込みます。ストライク側は、取付加工が必要になります。同梱されている片開き用ストライクを使用する、またはオプションの埋込用ストライクを使用します。  
※扉加工が必要なため、詳細は施工店へご相談ください。



片開き埋込用ストライク